

2.2.4 コア科目、各学修分野の必修科目 (APS)

コア科目 (「APS入門」、「地域研究入門」)

社会科学は基本的に、〈研究対象としての社会〉と〈それを考察するための考え方や、考察するための理論的枠組み〉という2つの側面から成り立つとされており、APSはそれに準じ、アジア太平洋地域という研究対象社会と、それを考察するための考え方や理論的枠組みとしての学修分野を基本構造としています。この2者を学ぶことが、APSの基本であり、「APS入門」は、後者の、それぞれの分野独自の考え方や理論的枠組みを学ぶことにより、4学修分野の専門領域を知ることが目的とし、「地域研究入門」は前者の研究対象地域としてのアジア太平洋を学ぶための手法を学ぶことを目的として設置されています。この2科目を修得することにより、APSの理念と目的を知ることができます。

なお、下表の通り「APS入門」は大学によって自動的に登録されますが、「地域研究入門」を履修する場合は学生が自身で登録する必要があります。

<コア科目>

科目名 (科目分野)	科目概要	登録	大学による 履修登録時期
APS入門 (APS専門 教育科目)	アジア太平洋学部に入学者が学ぶべき情報を集約した科目です。 ①大学とは何か、何をすべきところか ②アジア太平洋学部とはどのような学部なのか、どのような学修をする学部なのか。そもそもアジア太平洋学とは何か ③アジア太平洋学部の4学修分野ではそれぞれどのような学修、研究ができるのか。各学修分野の教員によるリレー講義によってこれら3点を学びます。本科目を受講する中で、4年間で何を学修するかを考え、卒業時の自らの目標が明確になっていきます。	大学が登録	日本語基準 学生： 春セメスター (1回生時) 英語基準 学生： 第1セメスター
地域研究 入門 (APS専門 教育科目)	アジア太平洋地域を理解するための基礎を学ぶ科目です。アジア太平洋地域の固有性や多様性を総合的に、多角的に理解することをめざし、同時にアジア太平洋地域を対象とする地域研究とはどのような学問領域なのか、なにを問題とし、どのような目的をもっていつかについて概括的に、網羅的に把握します。本科目はアジア太平洋地域を理解するための基本的知識を学ぶことによって、アジア太平洋地域をさらに深く、広く学んでいくための初めのステップとして位置づけられます。	学生が登録	